

虐待を
繰り返さない
ために



日本共産党岡山市議団

岡山市内で虐待死事件が発生

- 当時5才の女児が不自然な受傷で救急搬送され、
4ヶ月後の今年1月に亡くなる
- 布団に巻かれ放置されていたとの報道

岡山市は、
この女児の家庭を
虐待事案として
把握していた

何が起きたの？

これまでの経緯（岡山市発表）

市に通告① 2019年3月

「母の養育が心配」



市に通告② 2019年4月「母の知人男性から児童への暴力が疑われる」



市に通告③ 2019年6月 本児が迷子になり、「母親の養育が心配だ」

市に通告④ 2020年9月「母の知人男性による児童への過度な叱責が行われている」

→ 市が本児を一時保護



市に通告⑤ 2021年9月「児童が不自然な状態で受傷し救急搬送」
→ 2022年1月 本児が亡くなる



日時	市の対応	程度	女兒の状況
			岡山市中区へ転入 母子家庭、4人兄妹の末っ子
2019年3月	通告①「母親の養育が心配」		近所の住民から心配な親子として認識され、 食事提供などがあった。
2019年4月	通告②「母の知人男性による暴力が疑われる」		知人男性の姿も確認されている。
2019年6月	通告③「母親の養育が心配」		本人が迷子になる
2019年7月	『第三者による暴力を止められないネグレクト』と 市は認識	軽度	
2020年9月	通告④「母の知人男性による過度な叱責が行わ れている」	軽度	近所の墓場で裸で長時間叱責されているところ を保護される
	岡山市が児童を一時保護	軽度	
	2週間後に一時保護を解除。その理由を「母親、 知人男性とも反省している」と判断		
			岡山市北区に転居
2021年8月	訪問。本人に会わずに帰る		
2021年9月	通告⑤不自然な受傷で緊急搬送	最重度	布団で巻かれて放置されていたとの報道
2022年1月			死亡

市は、
今回の市の対応について
「正しかった」
としている。

防げたかもしれない
ポイントを
たくさん逃していませんか？

疑問①

なぜ、

「第3者による暴力を止められないネグレクト」

と市は認識しながら、

虐待の程度が「**軽度**」なのか？

DV支配下にあった可能性を認識したのか？

疑問②

なぜ、

一時保護をすぐ解除したのか？
加害者の「反省」を鵜呑みにしたのか？

疑問③

なぜ、

自宅訪問で**本人の確認**をしなかったのか？

- ・加害者である知人男性への訪問は十分だったのか？！

市は、
既設の「児童福祉審議会」の部会で
5回にわたり、
市の対応の検証と今後の方針について
審議するとし、
一般的答弁にとどまる

児童相談所の
人員体制って
どうだったのですか？

児童相談所の体制について

★人員体制の充実を市長が答弁

⇒⇒市長：

「早急に職員1人あたり

40ケースになるよう改善する」

まず4月から児童相談所と地域こども相談センターに
児童福祉司などを7人増員

今は、66ケース
を担当

事実を明らかにし、真摯な検証を求めます

